

\*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

\*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。



フロントフォークスプリング	適応車種	商品NO.
	<i>Address</i> V125	2 ページ参照


## ■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 <b>警告</b>	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 <b>注意</b>	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

### 警告



実施

- ・ フロントホイールの脱着作業が必要ですので車体をジャッキアップしての作業になります。作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- ・ 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

### 注意



実施

- ・ この商品の取り付けは必ず、オートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼してください。
- ・ 取り付け後約 100 km 走行しましたら各部を点検してください。その後は約 500 km 毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。
- ・ 取り付け後、走行フィーリングが変わっていますので必ず感覚を確認してください。この作業を怠ると重大な事故につながります。
- ・ 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。



禁止

- ・ この商品は加熱しないでください。ヘタリや破損の原因となります。
- ・ この商品へ切断等の加工は一切行わないでください。ヘタリや破損の原因となります。又、フロントフォークのストローク不足によって操安性が低下し重大な事故へつながります。
- ・ 強化フォークスプリング（69860/70110）は、純正長の強化タイプ。車高は純正同様です。
- ・ ローダウンフォークスプリング（71935/71936）は、純正対比約 25mm ダウンのフロントローダウン仕様。純正に比べバンク角が少なくなり、バンク時に車体下周りを擦りやすくなりますので、注意して走行してください。
- ・ この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。
- ・ 作業中、車体が倒れないよう十分注意し、作業を行なってください。



その他

- ・ 当社フォークスプリングは、純正フォークスプリングに比べ、乗り心地が固くなります。
- ・ 商品の不良について商品については保証できますが、商品以外の費用（取付工賃や塗装費等）の保証は一切できませんのでご了承ください。
- ・ 適応車種の年式により、取り外し方法が異なりますので、必ずメーカーより発行されておりますサービスマニュアルをご参照ください。
- ・ ローダウンフォークスプリング（71935/71936）を単独で装着させる場合、サイドスタンドは純正が使用可能です。
- ・ ローダウンフォークスプリング（71935/71936）と別売の当社ローダウンリヤショック（72418/72420）を同時装着させる場合は、別売の当社ショートサイドスタンド（71905）を必ず同時装着してください。
- ・ この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。予めご了承ください。

### 本商品の特徴

品番	品名	適応型式	製品仕様
69860	強化フォークスプリング	K5/K6	純正長強化 type (バネレート約 20%アップ)
70110		K7/K9	

品番	品名	適応型式	製品仕様
71935	ローダウンフォークスプリング	K5/K6	約 25mmダウン type (バネレート約 35%アップ)
71936		K7/K9	

### 本商品の特徴

- 強化フォークスプリング（69860/70110）は、バネレートを純正対比約 20%アップし、理想的な乗り心地を実現します。特に、ブレーキング時やコーナリング時での安定性が向上します。
- ローダウンフォークスプリング(71935/71936)は、純正対比約 25mm ダウン、バネレート約 35%アップのフロントローダウン仕様。足つき性の向上とドレスアップを両立します。

### 商品内容

NO	パーツ名		数量
①	フォークスプリング	左右共通	2

## 取付方法

この商品の取り付けは必ず、オートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼してください。

年式により、作業手順が異なります。また、この作業手順は弊社にて検討した方法となっており、取り付けに際しては必ずサービスマニュアルを参考にしてください。

メインスタンドを使用し、車体をしっかりと固定します。

1. 純正キャリパーを固定している純正ボルト（2ヶ）を緩めます。
2. 純正フロントアクスルナットを緩めます。
3. 車体の下側へジャッキ等をかけ、フロントホイールを浮かせます。

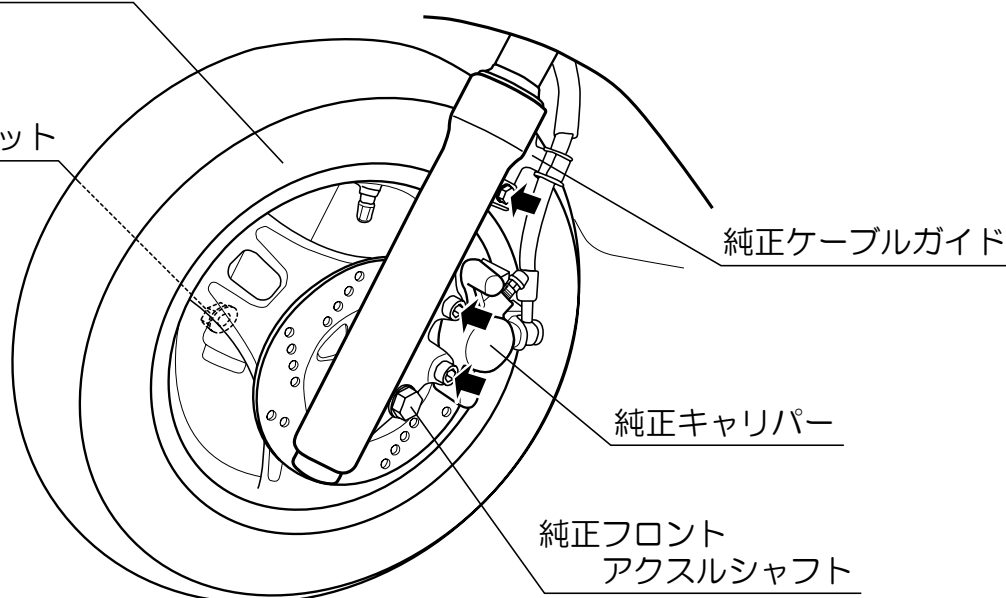
※.ジャッキ等を使用する際は、車体側のあたり面の破損に注意してください。

4. 純正キャリパーを固定している純正ボルト（2ヶ）を外し、純正キャリパーをフリーの状態にします。
5. 純正フロントアクスルナットを外し、純正フロントアクスルシャフトを抜き取り、純正フロントホイール ASSY を取り外します。
6. 純正ボルト（2ヶ）を外し、純正ケーブルガイドを取り外します。

※一時的に取り外した純正パーツは、キズや破損に注意して保管してください。

純正フロントホイールASSY

純正フロント  
アクスルナット



純正ケーブルガイド

純正キャリパー

純正フロント  
アクスルシャフト

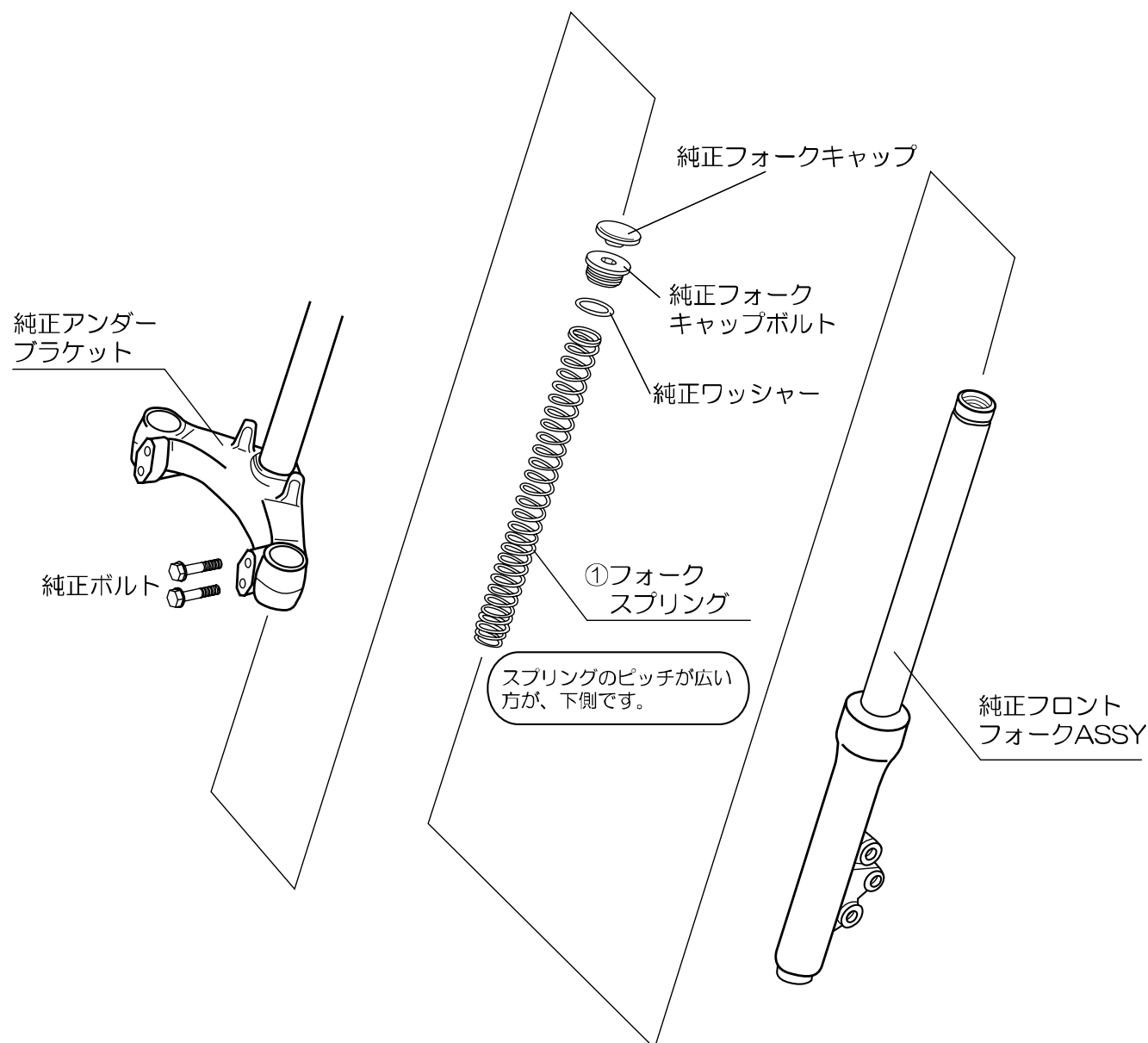
7. 純正ボルト（4ヶ）を外し、純正アンダーブラケットより、純正フロントフォーク ASSY を取り外します。
8. 純正フォークキャップを外し、純正フォークスプリングが飛び出ないように注意して、純正フォークキャップボルトを取り外し、純正ワッシャー、純正フォークスプリングを取り外します。
9. フォークオイルを規定量入れて、油面を調整します。フォークオイルを交換しない場合は、フォークオイルを必ず補充し、油面調整を行ってください。詳細は次ページの◆油面調整方法◆をご覧ください。

**※.このスプリングは、油面調整をSTD基準で設計しています。**

10. ①フォークスプリングと交換します。①強化フォークスプリングの上下方向に注意してください。

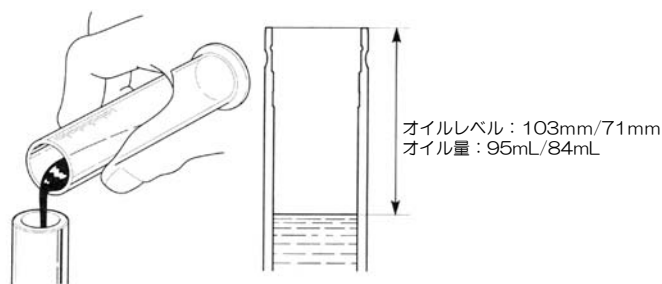
**※.ピッチが広いほうを下側にして組み付けます。**

11. 取り外しとは逆の手順で元に戻し、各部を点検し異常が無ければ作業は終了です。



## ◆油面調整方法◆

- ① 規定量を目安にフォークオイルを注入します。
- ② フォークチューブを数回伸縮させ、混入しているエアを抜きます。
- ③ フォークチューブをいっぱいに沈めた状態（最屈時）でオイルレベルを調整します。



- ◎ このスプリングは、油面調整をSTD基準で設計しています。但し、お好みにより、油面の調整をしていただいても構いません。

車種	オイル量（片側）	オイルレベル （インナーチューブ上端から）	番手
K5/K6	95mL	103mm（スプリング無し最屈時）	#10
K7/K9	84mL	71mm（スプリング無し最屈時）	#10

- ◎ 油面とオイルの番手を上げると、簡単にどうなるかといえば...

○オイルの番手を上げると全体的に固くなる。

○フォーク油面を上げると初期沈みが基準値の場合と比較し変化は無いが、沈み込んでから堅くなる。

となりますので、お好みにより設定してください。

## 別売足回りパーツ

品番	品名	取付長	カラー
68698	強化リヤショック	340mm (純正対比約+15mm)	メッキボディ/メッキスプリング
69005			メッキボディ/レッドスプリング

品番	品名	取付長	カラー
72418	ローダウンリヤショック	290mm (純正対比約-35mm)	メッキボディ/メッキスプリング
72420			メッキボディ/レッドスプリング

品番	品名	カラー	備考
71905	ショートサイドスタンド	クロームメッキ	純正対比約-30mm

※. 当社部品にて前後ローダウンする場合に必要となります。

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona-mc.jp>

E-mail: [info@daytona.co.jp](mailto:info@daytona.co.jp)

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」

0120-60-4955 まで